

病院実務実習評価原案_H30日病薬版

F 薬学臨床

GIO 患者・生活者本位の視点に立ち、薬剤師として病院や薬局などの臨床現場で活躍するために、薬物療法の実践と、チーム医療・地域保健医療への参画に必要な基本的事項を修得する。

※F薬学臨床における代表的な疾患は、がん、高血圧症、糖尿病、心疾患、脳血管障害、精神神経疾患、免疫・アレルギー疾患、感染症とする。病院・薬局の実務実習においては、これら疾患を持つ患者の薬物治療に継続的に広く関わること。

(1) 薬学臨床の基礎

GIO 医療の担い手として求められる活動を適切な態度で実践するために、薬剤師の活躍する臨床現場に必要な心構えと薬学的管理の基本的な流れを把握する。

【①早期臨床体験】 ※原則として2年次修了までに学習する事項		大学	薬局	病院	大学	薬局	病院		
SBOs885	1 患者・生活者の視点に立って、様々な薬剤師の業務を見聞し、その体験から薬剤師業務の重要性について討議する。(知識・態度)	◎	○	○	・早期臨床体験として、調剤見学ではなく、病棟業務、チーム医療、在宅業務などへの同行や見学など、臨床における薬剤師の活躍現場を見学する。 見学後に薬剤師の存在意義、重要性について討議する。	◎	○	○	・2年次までに薬局業務と薬局薬剤師の役割、貢献について見学等を通して理解する。 病院業務と病院薬剤師の役割、貢献について見学等を通して理解する。 地域の保健・福祉、さらにそれらと医療との連携について見学等を通して理解する。
SBOs886	2 地域の保健・福祉を見聞した具体的体験に基づきその重要性や課題を討議する。(知識・態度)	◎	○	○	・病院、保健・福祉施設などでのボランティア活動等を行い、その体験を通じて考えた医療の課題について討議する。				
SBOs887	3 一次救命処置(心肺蘇生、外傷対応等)を説明し、シミュレータを用いて実施できる。(知識・技能)	◎			・シミュレータを用いて、各自が一次救命処置及びAEDによる蘇生を体験する。 (実務実習に行く前にも、再度、一次救命処置及びAEDによる蘇生が実践できるか確認する。)				

病院実務実習評価原案_H30日病薬版

		大学	薬局	病院	大学	薬局	病院							
【②臨床における心構え】[A(1)、(2)参照]								観点	アウトカム	4	3	2	1	
SBOs888	1	前)医療の担い手が守るべき倫理規範や法令について討議する。(態度)	◎											
SBOs889	2	前)患者・生活者中心の医療の視点から患者・生活者の個人情報や自己決定権に配慮すべき個々の対応ができる。(態度)	◎											
SBOs890	3	前)患者・生活者の健康の回復と維持、生活の質の向上に薬剤師が積極的に貢献することの重要性を討議する。(態度)	◎											
SBOs891	4	医療の担い手が守るべき倫理規範を遵守し、ふさわしい態度で行動する。(態度)		◎	◎			生命の尊厳と薬剤師の社会的使命及び社会的責任 ・病院、薬局実習を通して患者、来局者、施設スタッフ、地域関係者等と関わり、医療人としての倫理観をもって相応しい態度でそれぞれの立場に対応・配慮して行動する。 (指導者は実習生の成長に応じ、随時形成的評価を行い、フィードバックを行うこと。)	生命の尊厳と薬剤師の社会的使命を自覚し、倫理的行動をする。医療関係法規を遵守して、薬剤師としての責任を自覚する。	患者・生活者に寄り添い、患者・生活者の利益と安全を尊重して行動する。医療の中で薬剤師に求められる責任を自覚し、自らを律して行動する。さらなる患者ケアの向上に向けた自己啓発を行う。	患者・生活者の視点に立つ。日常の学びを振り返り記録し、省察する。	生命の尊厳を意識し、他者の人権を尊重する。薬剤師としての義務及び法令を遵守する。患者・生活者のプライバシーを保護する。	薬剤師としての義務及び個人情報保護に関して留意している。	
SBOs892	5	患者・生活者の基本的権利、自己決定権について配慮する。(態度)		◎	◎									
SBOs893	6	薬学的管理を実施する際に、インフォームド・コンセントを得ることができる。(態度)		◎	◎									
SBOs894	7	職務上知り得た情報について守秘義務を遵守する。(態度)		◎	◎									

病院実務実習評価原案_H30日病薬版

			大 学	薬 局	病 院	大 学	薬 局	病 院	
【③臨床実習の基礎】									
SBOs895	1	前)病院・薬局における薬剤師業務全体の流れを概説できる。		◎		・病院に患者が入院してきたと想定し、退院までの患者の動きと薬剤師業務の関連を図示し、説明する。 ・病院と薬局の連携の必要性、可能性について、議論し、要点を整理する。 ・薬局に患者が処方せんをもって来局したと想定し、退局までの患者の動きと薬剤師業務の関連を図示し、説明する。 ・薬局に生活者が一般用医薬品を求めて来局したと想定し、退局までの生活者の動きと薬剤師業務の関連を図示し、説明する。			
SBOs896	2	前)病院・薬局で薬剤師が実践する薬学的管理の重要性について説明できる。		◎		・病院・薬局で実践する薬学的管理の意義を具体的な例を挙げて説明する。 ・病院では、病棟に常駐する薬剤師の意義を具体的な例を挙げて説明する。			
SBOs897	3	前)病院薬剤部門を構成する各セクションの業務を列挙し、その内容と関連を概説できる。		◎		・薬剤部門の構成セクションを列挙し、その業務内容と、それぞれの関連を議論し、要点を整理する。			
SBOs898	4	前)病院に所属する医療スタッフの職種を列挙し、その業務内容を相互に関連づけて説明できる。		◎		・病院の各部門と職種を列挙し、薬剤師業務との関連を議論し、要点を整理する。			
SBOs899	5	前)薬剤師の関わる社会保障制度(医療、福祉、介護)の概略を説明できる。【B(3)①参照】		◎		・上記で題材とした患者事例を基に、入院から退院までの各部門の業務とその業務に関係する社会保障制度との関連を議論し、要点を整理する。			
SBOs900	6	病院における薬剤部門の位置づけと業務の流れについて他部門と関連付けて説明できる。			◎			・病院の診療システムおよび他部署の業務を理解し、薬剤師業務との関連を実習期間を通して考察する。	
SBOs901	7	代表的な疾患の入院治療における適切な薬学的管理について説明できる。			◎			・病棟実習の導入として、「代表的な疾患」の標準治療と基本的な薬学的管理を理解する(各領域につき担当薬剤師による概略把握と病棟見学を行う)。	
SBOs902	8	入院から退院に至るまで入院患者の医療に継続して関わることができる。(態度)			◎			・病棟実習の期間に、「代表的な疾患」の患者について入院から退院まで継続して関わる。(入院センター等院内施設が関与する場合は、特に病棟だけにこだわる必要はない)	
SBOs903	9	急性期医療(救急医療・集中治療・外傷治療等)や周術期医療における適切な薬学的管理について説明できる。			◎			・急性期医療及び周術期医療、周産期、小児、終末期医療、緩和ケア、外来化学療法の実践を体験する。(実習の全体像や意義を把握するため、実習生が実際の医療現場で説明を受けて随時学習する。指導者はそれを確認し適切なアドバイスを与える。)	
SBOs904	10	周産期医療や小児医療における適切な薬学的管理について説明できる。			◎			・在宅医療、地域包括ケアの中での終末期医療や緩和ケアの薬学的管理について確認する。	
SBOs905	11	終末期医療や緩和ケアにおける適切な薬学的管理について説明できる。		○	◎		・在宅医療、地域包括ケアの中での終末期医療や緩和ケアの薬学的管理について確認する。		(1)、(2)、及び(3)の領域の評価に含まれる。
SBOs906	12	外来化学療法における適切な薬学的管理について説明できる。		△	◎		・院外処方を実施される外来化学療法での薬学的管理について確認する。		
SBOs907	13	保険評価要件を薬剤師業務と関連付けて概説することができる。		◎	◎		・保険薬局施設で適用される医療保険の要件、薬局薬剤師の保険要件を実習施設で確認する。 ・保険請求などの業務の実際を確認する。		
SBOs908	14	薬局における薬剤師業務の流れを相互に関連付けて説明できる。			◎		・薬局における医療提供システムおよび来局者への健康相談、販売等の薬剤師業務を理解し、その関連を実習期間を通して考察する。		
SBOs909	15	来局者の調剤に対して、処方せんの受付から薬剤の交付に至るまで継続して関わることができる。(知識・態度)			◎		・「代表的な疾患」患者の調剤において、処方せんの受付から調剤薬交付までを継続して体験する。		

病院実務実習評価原案_H30日病薬版

			大 学	薬 局	病 院	大学	薬局	病院									
(2)処方せんに基づく調剤、(3)薬物療法の実践のアウトカム : 診断に基づいた薬物療法を患者に対して個別最適化を行い実施する。患者に薬剤を交付した後も、その後の経過の観察や結果の確認を行い、薬物療法の評価と問題を把握し、患者の薬物療法の質の向上に貢献する。																	
(2) 処方せんに基づく調剤																	
GIO		処方せんに基づいた調剤業務を安全で適正に遂行するために、医薬品の供給と管理を含む基本的調剤業務を修得する。															
【①法令・規則等の理解と遵守】[B(2)、(3)参照]																	
SBOs910	1	前)調剤業務に関わる事項(処方せん、調剤録、疑義照会等)の意義や取り扱いを法的根拠に基づいて説明できる。	◎			<SBOs916-919,925-932と同時に実施する。SBO888, 889もふまえる。>			-								
SBOs911	2	調剤業務に関わる法的文書(処方せん、調剤録等)の適切な記載と保存・管理ができる。(知識・技能)	◎	○		・薬局内の実際の書類や掲示等から薬事関連法規に規定された法的文書等を確認し、その記載、保存、管理を実施する。 ・薬事関連法規を意識して調剤業務全般を体験する。	・実習施設での調剤業務の中で薬事関連法規に規定された法的文書等の取り扱いを体験する。 ・薬事関連法規を意識して調剤業務全般を体験する。	(1)の領域の評価に含まれる									
SBOs912	3	法的根拠に基づき、一連の調剤業務を適正に実施する。(技能・態度)	◎	○		・薬事関連法規を意識して調剤業務全般を体験する。	・薬事関連法規を意識して調剤業務全般を体験する。	(2)、(3)の領域の評価に含まれる									
SBOs913	4	保険薬局として必要な条件や設備等を具体的に関連付けて説明できる。	◎			・保険薬局の業務、施設、設備等と薬事関連法規との関連性の実際を理解する。		(2)、(3)の領域の評価に含まれる									

病院実務実習評価原案_H30日病薬版

		大学	薬局	病院	大学	薬局	病院						解説		
【②処方せんと疑義照会】								観点	アウトカム	4	3	2		1	
SBOs914	1	前) 代表的な疾患に使用される医薬品について効能・効果、用法・用量、警告・禁忌、副作用、相互作用を列挙できる。	◎				・これまでの学習で修得した知識が実務実習で具体的な活用が可能か確認する。「代表的な疾患」全てについて症例等を利用して臨床現場での考え方をシミュレートする。								
SBOs915	2	前) 処方オーダーリングシステムおよび電子カルテについて概説できる。	◎				・処方オーダーリングシステム及び電子カルテのメリット、デメリットを挙げ、説明する。								
SBOs916	3	前) 処方せんの様式と必要記載事項、記載方法について説明できる。	◎				・「代表的疾患」の模擬処方せんに基づき、処方せんの監査を実施する。								
SBOs917	4	前) 処方せんの監査の意義、その必要性と注意点について説明できる。	◎				・処方せん監査の法的根拠を説明し、薬剤師の「責任」について具体的に説明する。								
SBOs918	5	前) 処方せんを監査し、不適切な処方せんについて、その理由が説明できる。	◎				・上記処方せんの監査から、疑義照会事例について、疑義照会を実施する。								
SBOs919	6	前) 処方せん等に基づき疑義照会ができる。(技能・態度)	◎				・疑義照会の法的根拠を説明し、薬剤師の「責任」について具体的に説明する。								
SBOs920	7	処方せんの記載事項(医薬品名、分量、用法・用量等)が適切であるか確認できる。(知識・技能)	◎	◎				処方監査と疑義照会	処方監査と疑義照会を実践する。 処方監査: 患者情報と医薬品情報に基づき、処方書の妥当性、適切性を判断する。 疑義照会: 必要に応じて、疑義照会の必要性を判断し、適切なコミュニケーションのもと実施し、記録し、次に活かす。最終的には、医師の処方行動に変容をもたらす。	明らかな疑義が無くても患者情報などを判断し、より良い処方を提案する。	患者情報や医薬品の情報を考慮して疑義照会を適切に行い、代替案を提示する。	医薬品の基本的な情報に基づき、処方に対する疑義の有無を判断する。 ※患者情報とは、④患者対応及び(3)薬物療法の実践①患者情報の把握に基づく ※医薬品情報とは、薬物療法の実践②医薬品情報の収集と活用に基づく	処方箋の形式上の不備が無い確認し、処方箋に従って調剤する。	全体: 処方監査は調剤室で行うことに限らず、病棟等で行うことも含む。 レベル4: 薬剤師が病棟で活動する事により、処方監査は病棟でも行われるようになった。その際、薬剤師の気づきにより、患者の状態に合わせた一包化や剤形変更等、患者個別のニーズに合わせた調剤が実現している。従って、ここでの評価レベル4は、病棟実習を経験した後でないと到達できない内容としている。	
SBOs921	8	注射薬処方せんの記載事項(医薬品名、分量、投与速度、投与ルート等)が適切であるか確認できる。(知識・技能)	△	◎			・実際の薬局処方せんを教材にして各記載事項の意義を確認しながら、処方せん監査を実施し、その妥当性を判断する。								
SBOs922	9	処方せんの正しい記載方法を例示できる。(技能)	◎	◎											
SBOs923	10	薬歴、診療録、患者の状態から処方書が妥当であるか判断できる。(知識・技能)	◎	◎											
SBOs924	11	薬歴、診療録、患者の状態から判断して適切に疑義照会ができる。(技能・態度)	◎	◎			・調剤業務の中で、薬歴やお薬手帳、患者への問診などから判断して、適切でないとと思われる処方について疑義照会を体験する。								

病院実務実習評価原案_H30日病薬版

		大学	薬局	病院	大学	薬局	病院						
【③処方せんに基づく医薬品の調製】								観点	アウトカム	4	3	2	1
SBOs925	1	前)薬袋、薬札(ラベル)に記載すべき事項を適切に記入できる。(技能)	◎										
SBOs926	2	前)主な医薬品の成分(一般名)、商標名、剤形、規格等を列挙できる。	◎										
SBOs927	3	前)処方せんに従って、計数・計量調剤ができる。(技能)	◎										
SBOs928	4	前)後発医薬品選択の手順を説明できる。	◎										
SBOs929	5	前)代表的な注射剤・散剤・水剤等の配合変化のある組合せとその理由を説明できる。	◎										
SBOs930	6	前)無菌操作の原理を説明し、基本的な無菌操作を実施できる。(知識・技能)	◎								—		
SBOs931	7	前)抗悪性腫瘍薬などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の基本的な手技を実施できる。(技能)	◎										
SBOs932	8	前)処方せんに基づき調剤された薬剤の監査ができる。(知識・技能)	◎										

病院実務実習評価原案_H30日病薬版

			大学	薬局	病院	大学	薬局	病院					
SBOs933	9	主な医薬品の一般名・剤形・規格から該当する製品を選択できる。(技能)		◎	○				処方せんに基づく医薬品の調製 監査結果に基づき適正な医薬品調製を 実践する。 監査・調剤において、特別な注意を要する医薬品を確認し、その適切な取り扱いを行う。調剤業務の中で調製された薬剤の監査を行い、間違いがあれば指摘する。	無菌調製やケミカルハザードの回避操作を適切に実施する。	一包化、錠剤等の粉碎、適切な賦形、配合変化の回避、安定性の確保等、工夫を必要とする調剤について、適切に実施する。	計数・計量調剤(散剤、水剤、軟膏、注射剤など)を正確に行う。	
SBOs934	10	適切な手順で後発医薬品を選択できる。(知識・技能)		◎	○								
SBOs935	11	処方せんに従って計数・計量調剤ができる。(技能)		◎	○								
SBOs936	12	錠剤の粉碎、およびカプセル剤の開封の可否を判断し、実施できる。(知識・技能)		◎	○								
SBOs937	13	一回量(一包化)調剤の必要性を判断し、実施できる。(知識・技能)		◎	○								
SBOs938	14	注射処方せんに従って注射薬調剤ができる。(技能)		△	◎		・薬局で取り扱う注射剤の調剤を体験する。 ・注射処方せんに従って処方監査体験する。						
SBOs939	15	注射剤・散剤・水剤等の配合変化に関して実施されている回避方法を列挙できる。		○	◎		・施設で処方される医薬品に関し、配合変化を確認しながらその機序と回避方法を理解する。						
SBOs940	16	注射剤(高カロリー輸液等)の無菌的混合操作を実施できる。(技能)		△	◎		・在宅医療での薬局での注射剤調剤を体験する。 ・注射剤調剤の中で無菌的混合操作を体験する						
SBOs941	17	抗悪性腫瘍薬などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の手技を実施できる。(知識・技能)			◎		・がん化学療法のレジメンチェックと抗がん剤調製を体験する。 ・注射剤調剤、抗悪性腫瘍薬取扱いの中でケミカルハザードの回避操作を体験する。						
SBOs942	18	特別な注意を要する医薬品(劇薬・毒薬・麻薬・向精神薬・抗悪性腫瘍薬等)の調剤と適切な取扱いができる。(知識・技能)		◎	◎		・調剤において特別な注意を要する医薬品を確認し、その適切な取り扱いを体験する。						
SBOs943	19	調製された薬剤に対して、監査が実施できる。(知識・技能)		◎	◎		・調剤業務の中で調製された薬剤の監査を体験する。						

病院実務実習評価原案_H30日病薬版

		大学	薬局	病院	大学	薬局	病院								
【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】								観点	アウトカム	4	3	2	1	解説	
SBOs944	1	前)適切な態度で、患者・来局者と対応できる。(態度)	◎												
SBOs945	2	前)妊婦・授乳婦、小児、高齢者などへの対応や服薬指導において、配慮すべき事項を具体的に列挙できる。	◎												
SBOs946	3	前)患者・来局者から、必要な情報(症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、副作用歴等)を適切な手順で聞き取ることができる。(知識・態度)	◎												
SBOs947	4	前)患者・来局者に、主な医薬品の効能・効果、用法・用量、警告・禁忌、副作用、相互作用、保管方法等について適切に説明できる。(技能・態度)	◎												
SBOs948	5	前)代表的な疾患において注意すべき生活指導項目を列挙できる。	◎												
SBOs949	6	前)患者・来局者に使用上の説明が必要な製剤(眼軟膏、坐剤、吸入剤、自己注射剤等)の取扱方法を説明できる。(技能・態度)	◎												
SBOs950	7	前)薬歴・診療録の基本的な記載事項とその意義・重要性について説明できる。	◎												
SBOs951	8	前)代表的な疾患の症例についての患者対応の内容を適切に記録できる。(技能)	◎												
SBOs952	9	患者・来局者に合わせて適切な対応ができる。(態度)		◎	◎			患者・来局者対応、情報提供・教育	患者からの情報収集、患者への情報提供及び患者教育を実践する。	患者の問題点を見出し、解決するための服薬指導や教育を行う。	患者の理解度や状態を含めた情報を収集・評価し、適切な服薬指導を行う。指導記録を作成する。	患者から薬物治療に係る基本的な情報(症状、既往歴、アレルギー歴、薬歴、副作用歴、生活状況等)を正確に収集し、記録する。 処方された医薬品について用法用量、薬効、副作用、使用上の注意事項などの基本的な情報を提供し、記録する。	患者から薬物治療に係る基本的な情報(症状、既往歴、アレルギー歴、薬歴、副作用歴、生活状況等)を収集する。処方された医薬品について用法用量、薬効、副作用、使用上の注意事項などの基本的な情報を提供する。	全体:患者に対する対応は、投薬窓口に限らず、病棟、外来等での業務全てを含む。 レベル3:ここに示す患者とは、高齢者、妊婦・授乳婦、小児、障害を持った方等様々な条件を持つ患者も含み、その病態や状況に適切に対応できる事を示す。	
SBOs953	10	患者・来局者から、必要な情報(症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、副作用歴等)を適切な手順で聞き取ることができる。(知識・態度)		◎	◎										
SBOs954	11	医師の治療方針を理解した上で、患者への適切な服薬指導を実施する。(知識・態度)		◎	◎										
SBOs955	12	患者・来局者の病状や背景に配慮し、医薬品を安全かつ有効に使用するための服薬指導や患者教育ができる。(知識・態度)		◎	◎										
SBOs956	13	妊婦・授乳婦、小児、高齢者等特別な配慮が必要な患者への服薬指導において、適切な対応ができる。(知識・態度)		◎	◎										
SBOs957	14	お薬手帳、健康手帳、患者向け説明書等を使用した服薬指導ができる。(態度)		◎	◎										
SBOs958	15	収集した患者情報を薬歴や診療録に適切に記録することができる。(知識・技能)		◎	◎										

病院実務実習評価原案_H30日病薬版

		大	薬	病	大学	薬局	病院						解説		
【⑤医薬品の供給と管理】								観点	アウトカム	4	3	2		1	
SBOs959	1 前) 医薬品管理の意義と必要性について説明できる。		◎												
SBOs960	2 前) 医薬品管理の流れを概説できる。		◎												
SBOs961	3 前) 劇薬、毒薬、麻薬、向精神薬および覚せい剤原料等の管理と取り扱いについて説明できる。		◎				・劇薬、毒薬、麻薬、抗精神病薬、覚せい剤原料、特定生物由来製品、放射性医薬品、院内製剤、薬局製剤、漢方製剤の具体的な商品などの実物もしくは写真を基に、管理の流れと法規制、保存条件などの品質管理上の問題点を議論し、要点を整理する。								
SBOs962	4 前) 特定生物由来製品の管理と取り扱いについて説明できる。		◎												
SBOs963	5 前) 代表的な放射性医薬品の種類と用途、保管管理方法を説明できる。		◎												
SBOs964	6 前) 院内製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。		◎												
SBOs965	7 前) 薬局製剤・漢方製剤について概説できる。		◎												
SBOs966	8 前) 医薬品の品質に影響を与える因子と保存条件を説明できる。		◎												
SBOs967	9 医薬品の供給・保管・廃棄について適切に実施できる。(知識・技能)			◎	◎			医薬品の供給と管理	適正な医薬品の供給と管理を実践する。	採用および採用取り消し、季節性、曜日、使用頻度、不良在庫の回避、ロット管理等を考慮に入れた適切な医薬品の管理を行う。	法的に取扱い上の規制を受けている医薬品(劇薬・毒薬・麻薬・向精神薬および覚せい剤原料、特定生物由来製品、放射性医薬品、院内製剤、漢方製剤など)の管理(発注、供給、補充、保管、廃棄、記録など)を適切に実践する。	医薬品の保管条件や有効期限を考慮した供給管理をする。	調剤棚や病棟にある医薬品の不足分の補充を適切に行う。	医薬品管理は、業務の性質上学生が一人で行うことは難しいため、実習形態として、指導薬剤師が学生と一緒に実施することで体験型実習としてよい。	
SBOs968	10 医薬品の適切な在庫管理を実施する。(知識・技能)			◎	◎		・薬局で取り扱う医薬品を把握し、発注や補充、棚卸等の業務の中で適切な在庫管理を体験する。								
SBOs969	11 医薬品の適正な採用と採用中止の流れについて説明できる。				◎	◎									
SBOs970	12 劇薬・毒薬・麻薬・向精神薬および覚せい剤原料の適切な管理と取り扱いができる。(知識・技能)			◎	◎		・劇薬・毒薬・麻薬・向精神薬および覚せい剤原料の管理や補充、伝票・帳簿処理等を体験する。 <SBO942と連携>								
SBOs971	13 特定生物由来製品の適切な管理と取り扱いを体験する。(知識・技能)					◎	・特定生物由来製品の適切な取り扱いを体験する。								

病院実務実習評価原案_H30日病薬版

		大	薬	病	大学	薬局	院						解説		
【⑥安全管理】								観点	アウトカム	4	3	2	1		
SBOs972	1	前)処方から服薬(投薬)までの過程で誤りを生じやすい事例を列挙できる。	◎												
SBOs973	2	前)特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性腫瘍薬、糖尿病治療薬、使用制限のある薬等)の特徴と注意点を列挙できる。	◎												
SBOs974	3	前)代表的なインシデント(ヒヤリハット)、アクシデント事例を解析し、その原因、リスクを回避するための具体策と発生後の適切な対処法を討議する。(知識・態度)	◎												
SBOs975	4	前)感染予防の基本的考え方とその方法が説明できる。	◎												
SBOs976	5	前)衛生的な手洗い、スタンダードプリコーションを実施できる。(技能)	◎												
SBOs977	6	前)代表的な消毒薬の用途、使用濃度および調整時の注意点を説明できる。	◎												
SBOs978	7	前)医薬品のリスクマネジメントプランを概説できる。	◎												
SBOs979	8	特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性腫瘍薬、糖尿病治療薬、使用制限のある薬等)の安全管理を体験する。(知識・技能・態度)	◎	◎				安全管理— 医療安全	医療安全の取組を理解し実践する。	自施設のインシデント、アクシデントなどを分析し、改善案を提案する。	自分の経験したミスの原因を議論し、対策を実践する。	自分の経験したミスを報告する。(口頭またはレポートによっておこなう。)	医薬品および医薬品以外に関連した安全管理体制、手順書等を確認し、その仕組みに沿って行動する。	レベル1:「手順書」は、「医薬品の安全使用のための業務手順書」に限らず、院内のマニュアル、内規など全般を指す。	
SBOs980	9	調剤ミスを防止するために工夫されている事項を具体的に説明できる。	◎	◎											
SBOs981	10	施設内のインシデント(ヒヤリハット)、アクシデントの事例をもとに、リスクを回避するための具体策と発生後の適切な対処法を提案することができる。(知識・態度)	◎	◎											
SBOs982	11	施設内の安全管理指針を遵守する。(態度)	◎	◎				安全管理— 感染管理	感染対策を理解し実践する。	感染対策(予防、蔓延防止など)について、具体的な提案をする。	感染対策(予防、蔓延防止など)について、問題点を指摘する。	感染予防に配慮し、臨床検体・医療廃棄物を適切に取り扱う。	実習施設の感染管理の規定に沿って行動する。	レベル1:スタンダードプリコーションの意味は「感染症の有無にかかわらずすべての患者に適用する疾患非特異的な予防策(アメリカ疾病管理予防センター)」である。従って、自分が遵守することの他に、感染予防を広く行う事をさす。レベル1に求められる内容としては難しすぎるため、この項目からスタンダードプリコーションの言葉を削除した。	
SBOs983	12	施設内で衛生的な手洗い、スタンダードプリコーションを実施する。(技能)		◎											
SBOs984	13	臨床検体・感染性廃棄物を適切に取り扱うことができる。(技能・態度)			◎										
SBOs985	14	院内での感染対策(予防、蔓延防止など)について具体的な提案ができる。(知識・態度)			◎										

病院実務実習評価原案_H30日病薬版

		大学	薬局	病院	大学	薬局	病院							
(3) 薬物療法の実践														
G10		患者に安全・最適な薬物療法を提供するために、適切に患者情報を収集した上で、状態を正しく評価し、適切な医薬品情報を基に、個々の患者に適した薬物療法を提案・実施・評価できる能力を修得する。												
【①患者情報の把握】								観点	アウトカム	4	3	2	1	解説
SBOs986	1	前)基本的な医療用語、略語の意味を説明できる。	◎											
SBOs987	2	前)患者および種々の情報源(診療録、薬歴・指導記録、看護記録、お薬手帳、持参薬等)から、薬物療法に必要な情報を収集できる。(技能・態度)[E3(2)①参照]	◎											
SBOs988	3	前)身体所見の観察・測定(フィジカルアセスメント)の目的と得られた所見の薬学的管理への活用について説明できる。	◎											
SBOs989	4	前)基本的な身体所見を観察・測定し、評価できる。(知識・技能)	◎											
SBOs990	5	基本的な医療用語、略語を適切に使用できる。(知識・態度)		△	◎				患者情報の把握	患者情報の各種媒体を適切に確認・把握し、必要に応じて患者アセスメントを実施し、薬物治療に活かす。	薬物治療の評価に必要な情報を判断し、収集・整理することで、患者の状況を適切に把握し、薬物治療に活かす。	患者対応、他の医療従事者及び各種媒体から患者情報を収集し、評価する。	患者対応及び患者情報の各種媒体(診療録、薬歴・指導記録、看護記録、検査値、お薬手帳など)から情報を収集する。 ※患者対応とは、④患者対応における患者からの情報収集に基づく	患者情報の各種媒体(診療録、薬歴・指導記録、看護記録、検査値、お薬手帳など)から薬物治療に必要な情報源にアクセスする。
SBOs991	6	患者・薬局および種々の情報源(診療録、薬歴・指導記録、看護記録、お薬手帳、持参薬等)から、薬物療法に必要な情報を収集できる。(技能・態度)		◎	◎									
SBOs992	7	患者の身体所見を薬学的管理に活かすことができる。(技能・態度)		○	◎									

病院実務実習評価原案_H30日病薬版

		大学	薬局	病院	大学	薬局	病院						解説		
【②医薬品情報の収集と活用】[E3(1)参照]								観点	アウトカム	4	3	2		1	
SBOs993	1		◎		・薬物療法に必要な医薬品情報を収集するための情報源と得られる医薬品情報の特徴を振り返るために、医薬品とその対象疾患を指定し、主な三次資料、二次資料、一次資料を入手し、それぞれの情報源の違いを振り返る。 ・学習した新医薬品について批判的な視点からの紹介文書を作成する。										
SBOs994	2		◎	◎				医薬品情報の収集と評価・活用	薬物療法の評価に必要な情報を収集し、得た情報及び情報ソースを批判的に評価し、効果的に使用する。	一次資料を含めた情報を適切に評価し、目的に合わせて加工し、提供する。患者啓発や医療の質向上に寄与する情報を主体的に作成する。	調査の目的を明確にし、基本的な情報源に加え、複数の情報源を利用して調査を実践する。得た情報の評価を常に行い、情報を必要とする相手のニーズを踏まえて、患者や医療スタッフに提供する。	薬物療法の評価に必要な基本的な情報源である医薬品添付文書、インタビューフォームに加え、診療ガイドラインなどを確認し、情報収集し、取捨選択する。	薬物療法の評価に必要な基本的な情報源である医薬品添付文書、インタビューフォームを確認し、情報収集する。		
SBOs995	3		◎	◎	・施設での医薬品関連情報の情報源と収集方法を理解し、実際の患者、来局者、施設スタッフに適切な医薬品情報を作成して提供する。 ・新薬や薬効別、後発品などの薬局で役に立つ医薬品情報をまとめる。 ・医師からの問い合わせに適切な医薬品情報を作成して提供する。 <SBO924、953～957、991、992実習時に並行して実施>	・施設での医薬品関連情報の情報源と収集方法を理解し、収集した情報を評価・加工して適切な情報を患者、医療スタッフ等に提供する。 ・医薬品情報室や病棟での実習の中で、種々の情報源を用いて、院内外の問い合わせに適切に対応する。(医薬品情報室での実習は病棟実習に先行して行う。) <SBO924、953～957、991、992実習時に並行して実施>									
SBOs996	4		○	◎											
SBOs997	5		◎	◎											
SBOs998	6		◎	◎											

病院実務実習評価原案_H30日病薬版

		大学	薬局	病院	大学	薬局	病院						解説		
【③処方設計と薬物療法の実践(処方設計と提案)】								観点	アウトカム	4	3	2		1	
SBOs999	1	前)代表的な疾患に対して、疾患の重症度等に応じて科学的根拠に基づいた処方設計ができる。	◎												
SBOs1000	2	前)病態(肝・腎障害など)や生理的特性(妊婦・授乳婦、小児、高齢者など)等を考慮し、薬剤の選択や用法・用量設定を立案できる。	◎												
SBOs1001	3	前)患者のアドヒアランスの評価方法、アドヒアランスが良くない原因とその対処法を説明できる。	◎												
SBOs1002	4	前)皮下注射、筋肉内注射、静脈内注射・点滴等の基本的な手技を説明できる。	◎												
SBOs1003	5	前)代表的な輸液の種類と適応を説明できる。	◎												
SBOs1004	6	前)患者の栄養状態や体液量、電解質の過不足などが評価できる。	◎												
SBOs1005	7	代表的な疾患の患者について、診断名、病態、科学的根拠等から薬物治療方針を確認できる。		◎	◎										
SBOs1006	8	治療ガイドライン等を確認し、科学的根拠に基づいた処方を立案できる。		○	◎										
SBOs1007	9	患者の状態(疾患、重症度、合併症、肝・腎機能や全身状態、遺伝子の特性、心理・希望等)や薬剤の特徴(作用機序や製剤的性質等)に基づき、適切な処方を提案できる。(知識・態度)		○	◎										
SBOs1008	10	処方設計の提案に際し、薬物投与プロトコルやクリニカルパスを活用できる。(知識・態度)		△	◎										
SBOs1009	11	入院患者の持参薬について、継続・変更・中止の提案ができる。(知識・態度)			◎										
SBOs1010	12	アドヒアランス向上のために、処方変更、調剤や用法の工夫が提案できる。(知識・態度)		◎	◎										
SBOs1011	13	処方提案に際して、医薬品の経済性等を考慮して、適切な後発医薬品を選択できる。		◎	◎										
SBOs1012	14	処方提案に際し、薬剤の選択理由、投与量、投与方法、投与期間等について、医師や看護師等に判りやすく説明できる。(知識・態度)		△	◎										
								薬物療法の問題点の識別と処方設計及び問題解決	患者の薬物療法の問題点の評価に基づき問題解決を実践し、個別最適化する。	論理的で実行可能な解決策を明示し、薬物療法の個別最適化を実践する。	薬剤師の提案により実施した薬物療法の結果を評価する。	薬物療法上の問題点について現状評価を行い、処方設計を行う。	薬物療法の有効性、アドヒアランスや腎機能低下時の投与量などの基本的な問題点を抽出する。	レベル1:患者の問題点を抽出するツールとして、カルテ等からの患者情報、患者面談、持参薬調査の結果等も活用する。	

病院実務実習評価原案_H30日病薬版

		大学	薬局	病院	大学	薬局	病院						解説		
【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】								観点	アウトカム	4	3	2	1		
SBOs1013	1	前)代表的な疾患に用いられる医薬品の効果、副作用に関してモニタリングすべき症状と検査所見等を具体的に説明できる。	◎				・「代表的な疾患」の具体的な事例を題材として、薬物療法を主体的に評価し、安全で有効な医薬品の使用を推進するために薬剤師が行うべき薬学的管理をPBLなどで学習する。								
SBOs1014	2	前)代表的な疾患における薬物療法の評価に必要な患者情報収集ができる。(知識・技能)	◎				・上記事例において、副作用モニタリングの必要な事例を用意し、患者情報の収集と評価から、副作用の評価を行い、代替薬物の提案を行う。				-				
SBOs1015	3	前)代表的な疾患の症例における薬物治療上の問題点を列挙し、適切な評価と薬学的管理の立案を行い、SOAP形式等で記録できる。(知識・技能)	◎				・上記事例において、薬物療法のコントロールが不足している事例を用意し、患者情報の収集と評価から、代替薬物の提案を行う。								
SBOs1016	4	医薬品の効果と副作用をモニタリングするための検査項目とその実施を提案できる。(知識・技能)		△	◎			・薬物治療の効果および副作用のモニターと評価において必要な項目(症状、検査値等)をリストアップする。 ・TDMの実験を体験する。 ・「代表的な疾患」を有する入院患者の薬物治療に複数の病棟で継続的に関わり、収集した情報等から、より有効で安全な薬物治療の提案を体験する。 (必要に応じて、病棟だけでなく、入退院センターなどの院内施設を利用して実習を行ってもよい。) <SBO953~956, 991, 992, 1005~1012の実習時に並行して実施する。>	有効性モニタリングと副作用モニタリング	薬物療法の経過の観察や結果の確認を実践する。	薬物治療に関する経過をモニタリングし、患者の状況を総合的に判断して、処方設計や問題解決につなげる。	評価した患者の状態に応じ、処方設計や問題解決につなげる。有効性が不十分な場合や、副作用を確認した場合には、対策を検討する。	患者との面談や薬物血中濃度、臨床検査値等の継続的なモニタリングを実践し、患者の状態を適切に評価し、その結果を適切に記録する。	薬物療法の有効性、安全性及び副作用を評価する指標を選択する。	レベル1:指標は、カルテ記載事項や臨床検査値等を指す。
SBOs1017	5	薬物血中濃度モニタリングが必要な医薬品が処方されている患者について、血中濃度測定を提案ができる。(知識・態度)			◎										
SBOs1018	6	薬物血中濃度の推移から薬物療法の効果および副作用について予測できる。(知識・技能)			◎										
SBOs1019	7	臨床検査値の変化と使用医薬品の関連性を説明できる。		△	◎										
SBOs1020	8	薬物治療の効果について、患者の症状や検査所見などから評価できる。			◎										
SBOs1021	9	副作用の発現について、患者の症状や検査所見などから評価できる。			◎										
SBOs1022	10	薬物治療の効果、副作用の発現、薬物血中濃度等に基づき、医師に対し、薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間等の変更を提案できる。(知識・態度)			◎										
SBOs1023	11	報告に必要な要素(5W1H)に留意して、収集した患者情報を正確に記載できる。(技能)			◎	◎									
SBOs1024	12	患者の薬物治療上の問題点を列挙し、適切な評価と薬学的管理の立案を行い、SOAP形式等で適切に記録する。(知識・技能)			◎	◎									
SBOs1025	13	医薬品・医療機器等安全性情報報告用紙に、必要事項を記載できる。(知識・技能)			◎										

病院実務実習評価原案_H30日病薬版

		大学	薬局	病院	大学	薬局	病院				
(4) チーム医療への参画 [A(4)参照]											
GIO		医療機関や地域で、多職種が連携・協力する患者中心のチーム医療に積極的に参画するために、チーム医療における多職種の役割と意義を理解するとともに、情報を共有し、より良い医療の検討、提案と実施ができる。									
【①医療機関におけるチーム医療】											
SBOs1026	1	前) チーム医療における薬剤師の役割と重要性について説明できる。	◎								
SBOs1027	2	前) 多様な医療チームの目的と構成、構成員の役割を説明できる。	◎								
SBOs1028	3	前) 病院と地域の医療連携の意義と具体的な方法(連携クリニックルパス、退院時共同指導、病院・薬局連携、関連施設との連携等)を説明できる。	◎								
SBOs1029	4	薬物療法上の問題点を解決するために、他の薬剤師および医師・看護師等の医療スタッフと連携できる。(態度)				◎					
SBOs1030	5	医師・看護師等の他職種と患者の状態(病状、検査値、アレルギー歴、心理、生活環境等)、治療開始後の変化(治療効果、副作用、心理状態、QOL等)の情報を共有する。(知識・態度)				◎					
SBOs1031	6	医療チームの一員として、医師・看護師等の医療スタッフと患者の治療目標と治療方針について討議(カンファレンスや患者回診への参加等)する。(知識・態度)				◎					
SBOs1032	7	医師・看護師等の医療スタッフと連携・協力して、患者の最善の治療・ケア提案を体験する。(知識・態度)				◎					
SBOs1033	8	医師・看護師等の医療スタッフと連携して退院後の治療・ケアの計画を検討できる。(知識・態度)				◎					
SBOs1034	9	病院内の多様な医療チーム(ICT、NST、緩和ケアチーム、褥瘡チーム等)の活動に薬剤師の立場で参加できる。(知識・態度)				◎					
【②地域におけるチーム医療】											
SBOs1035	1	前) 地域の保健、医療、福祉に関わる職種とその連携体制(地域包括ケア)およびその意義について説明できる。	◎								
SBOs1036	2	前) 地域における医療機関と薬局薬剤師の連携の重要性を討議する。(知識・態度)	◎								
SBOs1037	3	地域における医療機関と薬局薬剤師の連携を体験する。(知識・態度)				◎	○				
SBOs1038	4	地域医療を担う職種間で地域住民に関する情報共有を体験する。(技能・態度)				◎					

実務実習記録による評価

実務実習記録による評価

病院実務実習評価原案_H30日病薬版

			大学	薬局	病院			
(5)地域の保健・医療・福祉への参画 [B(4)参照]								
G10	地域での保健・医療・福祉に積極的に貢献できるようになるために、在宅医療、地域保健、福祉、プライマリケア、セルフメディケーションの仕組みと意義を理解するとともに、これらの活動に参加することで、地域住民の健康の回復、維持、向上に関わることができる。							
【①在宅(訪問)医療・介護への参画】								
SBOs1039	1	前)在宅医療・介護の目的、仕組み、支援の内容を具体的に説明できる。	◎			・在宅医療における薬剤師の業務事例を基に、在宅における薬剤師の役割と責任を議論し、要点を整理する。		
SBOs1040	2	前)在宅医療・介護を受ける患者の特色と背景を説明できる。	◎			・上記事例を基に、在宅医療や介護を受ける患者の特徴や社会的背景について、議論する。		
SBOs1041	3	前)在宅医療・介護に関わる薬剤師の役割とその重要性について説明できる。	◎			・在宅医療に従事する薬剤師の事例解説及び体験、感謝された事例などの講義を聴く。		
SBOs1042	4	在宅医療・介護に関する薬剤師の管理業務(訪問薬剤管理指導業務、居宅療養管理指導業務)を体験する。(知識・態度)		◎			<SBO908, 920~924を基本として、933~943では在宅特有の調剤業務を体験。952-958を活用して服薬指導、979~983を活用して安全管理、990~992、995~998を活用して情報収集と提示、1005~1012を活用して薬物療法の考察と提案を体験する。>	
SBOs1043	5	地域における介護サービスや介護支援専門員等の活動と薬剤師との関わりを体験する。(知識・態度)		◎			・薬局薬剤師による在宅医療、居宅介護の支援業務を患者宅、施設等への訪問も含め継続的に体験する。	実務実習記録による評価
SBOs1044	6	在宅患者の病状(症状、疾患と重症度、栄養状態等)とその変化、生活環境等の情報収集と報告を体験する。(知識・態度)		◎			・在宅に関与する医療、介護スタッフと情報を共有し、患者をサポートする意義を理解する。 ・医師やケアマネジャーへの報告や提案を体験する。	
【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】								
SBOs1045	1	前)地域保健における薬剤師の役割と代表的な活動(薬物乱用防止、自殺防止、感染予防、アンチドーピング活動等)について説明できる。	◎			・薬の週間などにおける地域薬剤師会の取り組みや学校薬剤師のアンチドーピングや薬物乱用防止教育などの活動事例を学び、可能であれば、積極的に参加し、対象者への教育活動を行う。		
SBOs1046	2	前)公衆衛生に求められる具体的な感染防止対策を説明できる。	◎			・医療従事者として自分自身の感染予防、パンデミックに対する感染防止対策について論議し要点をまとめる。		
SBOs1047	3	学校薬剤師の業務を体験する。(知識・技能)		◎			・学校薬剤師の指導のもと学校薬剤師業務を体験する。	
SBOs1048	4	地域住民の衛生管理(消毒、食中毒の予防、日用品に含まれる化学物質の誤嚥誤飲の予防等)における薬剤師活動を体験する。(知識・技能)		◎			・地域で行われている薬剤師の関与する保健衛生活動(薬物乱用防止活動、禁煙活動、認知症サポート等)を確認する。 ・実習中に行われる地域の活動に積極的に参加する。	実務実習記録による評価

病院実務実習評価原案_H30日病薬版

		大 学	薬 局	病 院	大学	薬局	病院		
【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】[E2(9)参照]									
SBOs1049	1	前)現在の医療システムの中でのプライマリケア、セルフメディケーションの重要性を討議する。(態度)	◎			・薬剤師によるプライマリケアの提供、セルフメディケーションについて議論し、その要点を整理する。 ・模擬生活者との対応を通して、以下の事を学習する。 ○一般用医薬品の選定に必要な情報の聞き取りを行う。 ○模擬来局者の状態の把握と評価を行い、ニーズにあった適切な対応を行う。 ○一般用医薬品、薬局製剤(漢方製剤を含む)、要指導医薬品を有効に、安全に使用するための情報提供を行う。 ○血圧測定、血糖値測定等の簡易検査の手法を理解し、得られた情報の評価を行う。 ○得られた情報及びその情報を基に評価した内容、提供した情報を薬歴に適切に記録する。 ○代表的な生活習慣の改善についてのアドバイスを行う。			
SBOs1050	2	前)代表的な症候(頭痛・腹痛・発熱等)を示す来局者について、適切な情報収集と疾患の推測、適切な対応の選択ができる。(知識・態度)	◎						
SBOs1051	3	前)代表的な症候に対する薬局製剤(漢方製剤含む)、要指導医薬品・一般用医薬品の適切な取り扱いと説明ができる。(技能・態度)	◎						
SBOs1052	4	前)代表的な生活習慣の改善に対するアドバイスができる。(知識・態度)	◎						
SBOs1053	5	薬局製剤(漢方製剤含む)、要指導医薬品・一般用医薬品、健康食品、サプリメント、医療機器等をリスクに応じ適切に取り扱い、管理できる。(技能・態度)	◎				・一般用医薬品の販売を行う薬局で、以下の販売業務や健康相談業務を体験する。 ○店舗で販売している一般用医薬品、健康食品、医療機器等について、特徴や注意点等について確認する。 ○第一類医薬品、要指導医薬品等、法規制に則った薬局での販売業務を体験する。 ○実際の店頭での来局者の健康相談を体験し、指導薬剤師と一緒に来局者個々の症状や生活習慣、環境などから受診勧奨や一般用医薬品販売などの対応を体験する。 ○来局者に生活習慣の改善や疾病の予防の重要性を認識させその具体的な指導を体験する。 ○地域住民に対し、疾病の予防や健康維持の啓発活動を体験する。 ＜SBO953, 991, 992を活用して、多くの来局者に対し継続して体験する。＞		
SBOs1054	6	来局者から収集した情報や身体所見などに基つき、来局者の病状(疾患、重症度等)や体調を推測できる。(知識・態度)	◎						
SBOs1055	7	来局者に対して、病状に合わせた適切な対応(医師への受診勧奨、救急対応、要指導医薬品・一般用医薬品および検査薬などの推奨、生活指導等)を選択できる。(知識・態度)	◎						
SBOs1056	8	選択した薬局製剤(漢方製剤含む)、要指導医薬品・一般用医薬品、健康食品、サプリメント、医療機器等の使用方法や注意点などを来局者に適切に判りやすく説明できる。(知識・態度)	◎						
SBOs1057	9	疾病の予防および健康管理についてのアドバイスを体験する。(知識・態度)	◎						
【④災害時医療と薬剤師】									
SBOs1058	1	前)災害時医療について概説できる。	◎			・災害時における薬剤師の役割について、議論し、要点を整理する。可能であれば、災害時に活躍した薬剤師等の話を聞いて討議する。			
SBOs1059	2	災害時における地域の医薬品供給体制・医療救護体制について説明できる。		○	○		・施設やその地域の災害時の体制を確認する。可能であれば 災害に対応する活動を体験する。 ・過去の事例等を参考にして、大規模な災害が発生した際の病院、薬局の業務や地域貢献、薬剤師としての役割等について討議、考察する。		実務実習記録による評価
SBOs1060	3	災害時における病院・薬局と薬剤師の役割について討議する。(態度)		○	○				

実務実習記録による評価

実務実習記録による評価